

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

バンコマイシンにおける AUC guided と trough guided の投与設計に対する腎障害発現の比較検証

研究計画

(1) 背景・意義

従来バンコマイシン (VCM) の薬物治療モニタリング (therapeutic drug monitoring: TDM) は trough guided で行っていたが、抗菌薬 TDM 臨床実践ガイドライン 2022 より AUC guided が推奨された。

(2) 目的

2022 年 4 月から東京警察病院では VCM TDM は AUC guided で行っている。当院における AUC guided と trough guided の投与設計で腎障害発現率を比較検証した。

(3) 方法

2020 年 4 月から 2023 年 12 月の間で、当院で、VCM が投与された成人症例を対象とした。2020 年 4 月から 2022 年 3 月に trough guided で投与設計を行った群と 2022 年 4 月から 2023 年 12 月に AUC guided で投与設計を行った群を腎障害の発生状況について後方視的に調査した。主要評価項目は腎障害の発生、副次評価項目は、VCM 投与後から腎障害発現までの日数とした。透析症例、18 歳未満の小児は除外した。腎障害の定義は KDIGO 診療ガイドラインによる AKI 診断基準より血清クレアチニン値 (sCr) が 48 時間以内に 0.3 mg/dL 上昇と sCr が 7 日以内に 1.5 倍上昇とした。腎障害発生率はフィッシャーの正確確率検討を用い、腎障害発現日までの日数は 2 標本 t 検定を用いた。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

03-5343-5611